

知的財産・産学官連携本部本部長挨拶・メンバー紹介



副学長、理事、
知的財産・産学官連携本部長
小林 俊郎

本学の知財・産学官連携本部がスタートしてこの9月で丸3年を迎えます。その間、大学は法人化され、科学技術基本計画は3期目(通算11年目)を迎えました。本学は開学以来、産学官連携を標榜してきており、活躍する環境としては絶好の機会といえます。

現在、知財・産学官連携本部は総勢32名(専任11名)からなり、知的財産の創出から活用、企業家(いわゆる大学発ベンチャー)にいたるまでの協力、知的財産創出の教育啓発、知的財産管理、技術交流・技術相談などの産学官連携の中核を担っております。昨年9月には本学の技術移転を担う(株)豊橋キャンパスイノベーション(TCI)が承認TLOとなり(愛称“とよはしTLO”)、一段と弾みがついてきました。

この度、皆様に更に本部の活動をよく知って頂くために、隔月でニュースを配布することに致しました。ご愛読、よろしくお願い申し上げます。



知的財産・産学官
連携副本部長
岩本 容岳
(特許全般、材料評価)
内線:6603



客員教授・弁理士
渡辺 久士
(特許全般、電子部品)
内線:6613



科学技術コーディネータ
村田 勝英
(有機化学、プラント)
廃棄物処理
内線:6605



知財連携マネージャー
大石 和彦
(技術移転コーディネータ)
内線:3036



知財連携マネージャー
富田 充
(半導体、無機化学)
圧電、セラミックス
内線:3009



知財連携マネージャー
松井 一雄
(金属、無機材料)
磁性体
内線:3004



未来技術流動
センター教授
田中 三郎
(超伝導)
内線:6916



研究基盤センター助教授
内田 裕久
(電子部品)
内線:6731



3系特任助教授
原田 八十雄
(半導体)
内線:7131



留学生センター助教授
林 孝彦
(利益相反関係)
内線:6866



客員助教授
鈴木 康之
(無機化学)
内線:3042



研究基盤センター助手
白川 正知
(情報通信)
内線:6658



産学連携係長
森川 正治
(機械、知財事務窓口)
内線:6983



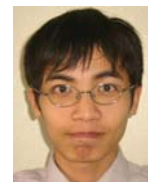
産学官連携コーディネータ
生田 始
(化学)
内線:3041



産学官連携コーディネータ
遠藤 一明
(化学、セラミックス、誘電体)
内線:3040



NEDOフェロー
上松 正和
(有機化学、生化学)
内線:3037



NEDOフェロー
野中 尋史
(ソフトウェア)
内線:3039

非常勤産学官連携コーディネータ

青木 尚夫 NPO法人東海テクノサポート
伊藤 和明 豊橋商工会議所
中嶋 崇雄 豊橋サイエンスクリエイト
中野 和久 豊橋サイエンスクリエイト
宮川 直樹 豊橋信用金庫

()内は
担当分野

知的財産・産学官連携本部の業務

特許相談

以下の内容の特許相談を随時受け付けております。
本学の教職員、学生の方ならどなたでも相談できます。

- ① 特許性の有無や特許出願の是非についての相談
- ② 先願例の調査や検索に関する相談
- ③ 特許出願の方法や手続きについての相談
- ④ 特許ライセンス等技術移転に関わる相談
- ⑤ その他、知的財産権に関わる事項

発明判定および特許明細書作成支援

発明が職務発明に相当し、大学帰属になるのか、市場性や特許性があるのかといった調査を行い、大学より出願するかどうか判定します。また、大学より出願となったものの特許明細書作成の支援も行っております。

技術移転および契約支援

共同研究もしくはライセンス契約の交渉支援を行っております。また、TLO（豊橋キャンパスイノベーション）と協力し、企業の方からの技術相談の窓口としても活動しております。その他、研究シーズを円滑な技術移転につなげるための学内ヒアリングなども行っております。

知的財産管理

特許をはじめとする大学帰属の知的財産の管理を行っています。
管理している公開特許の詳細な内容は、本学特許検索データベース PLISTで公開しています。

URL <http://plist.mirai.tut.ac.jp/patent/>

お問い合わせ

特許に関することなど気軽にご相談ください。

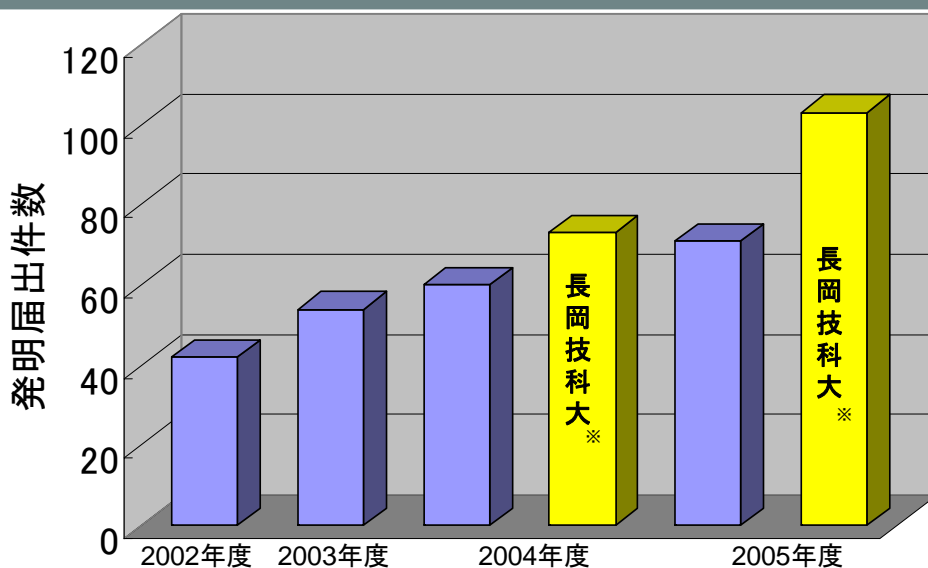
場所:研究基盤センター2F 207号室

内線:6975

E-mail:office@chizai.tut.ac.jp



知的財産・産学官連携本部設立以来の発明届出件数の推移



※参考:長岡技術科学大学知的財産センターHP:<http://www.nagaokaut.ac.jp/j/soshiki/chizai/index.html>

- ・2002年度に知的財産・産学官連携本部が設立されてから順調に発明届出件数は伸びています。しかし、本学と同規模の国立工業系大学である長岡技術科学大学の発明届出件数と比較すると、2004年度、2005年度ベース(本学:青、長岡:黄色)で出遅れています。
- ・発明届出件数は、技術移転による外部資金獲得などに結びつくものであり、その数値を本学としてはまだ伸ばす余地があることを示した結果といえます。

※知的財産・産学連携本部は出願まで支援をいたします。「これは特許になるのかな？」と疑問を少しでもいただければ幸いです。

届出上の注意:

- ①国立大学の法人化後、**発明届出は教職員の皆様の義務**となっております。
発明の届出をせずに特許出願など知的財産を権利化することは認められておりません。
- ②**学会、論文発表の最低2ヶ月前、可能ならば3ヶ月以上前に届出**をお願いいたします。
特許法30条適用による**発表後の発明届け出は原則認めておりません。**

特許セミナー実務コースが開催されました！

5月31日に特許セミナーの実務コースが開かれました。内容は特許を出願する際の請求事項について、電子出願の流れについて詳しくお話していただきました。質疑応答も盛んに行われ、参加者の皆様の知的財産への関心の高さが窺えました。



「特許明細書原稿のための知識とスキル」
客員教授・弁理士 渡辺 久士



「電子出願のための留意点」
知財連携マネージャー 富田 充

次回特許セミナーは 基礎コース 6月21日(水)14:00~15:30 (参加対象:知財講義を受講していない学生・教職員)
実務コース 6月28日(水)14:00~15:30 (参加対象:基礎コース受講済の学生・教職員)
参加希望者は研究協力課 p-semi@chizai.tut.ac.jp または内線6983までお申込みください。

JSTおよびNEDO事業公募のお知らせ

JST産学共同シーズイノベーション事業 顕在化ステージ公募

支援者:科学技術振興機構(JST)

助成対象:大学と企業の共同研究

助成額:1課題あたり800万円程度。最長1年。

応募締切:第2回締め切り7/18、第3回締め切り8/28

詳細:<http://www.jst.go.jp/innovate/>

NEDO大学発事業創出実用化研究開発事業(R&D)の公募

支援者:新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

内容:民間事業者による大学等の研究成果の実用化(2年以内)を目的とした研究開発
助成額1件あたり年間1000万円以上(企業の資金提供額の2倍を限度)

助成期間:3年以内

応募締切:7/12

詳細:http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/180501_2/180501_2.html

NEDO大学発事業創出実用化研究開発事前調査事業(F/S)の公募

支援者:新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

内容:R&Dのための事前調査。民間事業者は中小企業に限る。

助成額1件あたり年間200万円以下(企業の資金提供額の2倍を限度)

助成期間:3ヶ月以内

応募締切:7/12

詳細:http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/180501_2/180501_2.html

応募について

興味をもたれた場合は、知的財産本部(内線:6975 E-mail:office@chizai.tut.ac.jp)にご連絡ください。本学の技術移転機関である豊橋キャンパスイノベーション(とよはしTLO)が管理法人となり、公募資料作成や資金管理などの事務処理を担当いたします。現時点で、共同研究先の企業が見当たらない場合でも、知的財産本部/とよはしTLOがマッチング支援をいたします。

編集委員会では、**知財ニュースの記事に関するご感想、ご意見、ご要望を募集**しております！ また、特許や知的財産に関する様々な**疑問も募集**しております。ご連絡は知的財産本部(office@chizai.tut.ac.jp)までお願いします。

編集委員長:岩本容岳(知的財産・産学官連携本部副本部長)

委員:渡辺久士(客員教授、弁理士) 富田充(知財連携マネージャー)

上松正和(NEDOフェロー) 野中尋史(NEDOフェロー)